

## 令和7事業計画

### 海外援助事業

令和6年度は海外からの招聘を再開して5グループ15名を招聘した。令和7年度も引き続き招聘を継続する。

### 医薬品等の供与

旧狭山博愛で使用していた医療器材を令和6年度に招聘した人たちに見てもらいミャンマーとの国境近くの病院に連絡をとり、引き続き使用したいとのが分った為に、事業費の範囲内で無理のない程度にコンテナなどを使い搬送する。特に希望はタイ国とミャンマーの境界に近いいくつかの病院での希望があるためになるべく多く輸送できるように努力する。タイ国北部およびミャンマーとの境界地域、フィリピン等に対する結核治療のための医薬品代金の供与、抗結核剤代金の供与、注射器、注射針、輸液セット等の代金の供与を行う。特にタイ国に於いては国立チェンマイ大学医学部と協力し国境越境の人々の結核対策にも貢献する。

### 医療従事者の招聘

東南アジアを中心とする国々（タイ、フィリピン、マレーシア）から医療従事者を招聘して、狭山博愛クリニックにて研修、国際交流、文化交流を行う。

### 家庭医学本の作成及び配布

長年タイ国チェンマイ大学と協力して作成している家庭医学本を令和7年度も作成し配布する。

### 現地調査

令和6年度に再開したが、令和7年度も現地視察を行う、特にミャンマーとの境界領域の結核療養所を現地視察する。

## 研修クリニック事業

1. 狭山博愛クリニックは無事引っ越しも完了して青柳440-1で開業している。マイナンバーカード読み取り機の移設や令和6年12月で保守が終了したレセプト処理用コンピュータの後継機については、どちらも難渋したが令和7年度中にはマイナンバーカード読み取り機の移設もレセプト処理用コンピュータの後継機選択も完了して順調に稼働している。令和6年4月から3名態勢で行おうと考えていたが1名が4月から重病で病気入院してしまい、急遽1名を補充していたが、退院、自宅療養が順調で令和7年2月11日から復帰、合計4名態勢にはなったが、招聘した研修生の文化交流など人々が必要なことが解ったのでこのまま4名態勢で行う。
2. 旧博愛病院と狭山博愛の建物の再利用のめどがつかず、取り壊すことになった。旧狭山博愛病院建物は令和7年3月初旬から取壊しを開始して令和7年12月までに完了の予定である。狭山博愛の建物は令和7年6月から取壊しを開始して令和8年12月で完了の予定である。
3. 令和7年度も令和6年度に引き続き招聘した海外の医療従事者を狭山博愛クリニックや本部等の施設を使い研修、見学等を行う国際協力を行う、茶道文化交流や名所見学を行う文化交流、国際交流を行う予定である。